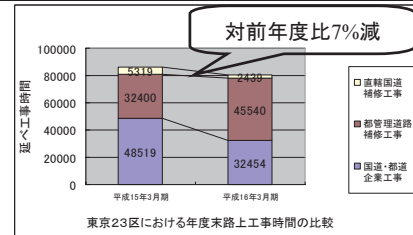


利用者の視点に立った路上工事縮減の取組み

平成 15 年度は縮減目標を達成。
東京 23 区での外部評価型の取組みを積極的に拡充し、
路上工事による渋滞を軽減。



(1) 指標の動向

- 路上工事による 1km あたりの年間路上工事時間を測定し、交通規制を伴う路上工事縮減の取組みの成果をチェック
- 国が管理する全国の国道(直轄国道)においては、1km 当り年間 201 時間から 186 時間へと約 7%の縮減を行い、平成 15 年度目標 4%縮減を達成
- 東京 23 区、名古屋市、大阪市の三大都市においては、直轄国道に加え、都道、県道、主要市道も含めて評価し、いずれも平成 15 年度目標 4%縮減を達成
- 平成 16 年度は、平成 14 年度比で 8%の縮減を目標

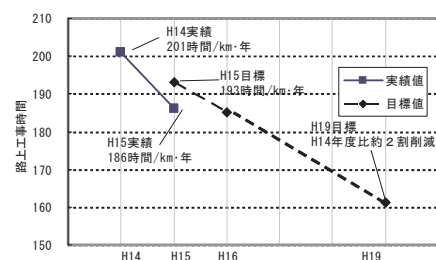
(2) 達成度報告 (昨年度の成果)

- 全国の直轄国道において、年間路上工事時間を約 7%縮減
 - ・ 全国の直轄国道において、関係者間の工事時期の調整による共同施工の推進等により、年間路上工事時間を約 420 万時間から約 391 万時間へと約 7%縮減。(表 2-2)
- 東京 23 区における年間路上工事時間を約 5%縮減
 - ・ 東京 23 区において約 8 割(平成 14 年度)を占めていた占用企業工事について、時期を調整して工事を実施する共同施工に取り組んだほか、工事実施者別の路上工事時間数を公表したことがインセンティブとなり、年間路上工事時間を約 75 万時間から約 61 万時間へと約 2 割縮減。(表 2-3)
 - ・ このことから、東京 23 区における年間路上工事時間は、全体として約 105 万時間から約 100 万時間へと約 5%の縮減となった。(表 2-3)
- 東京 23 区における年末・年度末の路上工事時間を、前年同月比約 7%縮減
 - ・ 東京 23 区内の国道及び都道について、年末(12 月)及び年度末(3 月)において、緊急工事等を除き、路上工事を原則ストップした。
 - ・ 年末・年度末共に前年同月比で約 7%の路上工事時間を縮減。直轄国道では、年末約 2 割、年度末約 5 割の大幅な縮減。(図 2-3)
 - ・ 道路モニターの約 7 割が路上工事は減ったと実感し、有効な施策であると評価。(図 2-5)
 - ・ 都管理道路の道路補修工事は、年末から年度末にかけて増加の傾向。(図 2-7, 2-8)

(3) 業績計画 (今後の取組み)

- 路上工事縮減のためのマネジメントの徹底
 - ・ 直轄国道において、毎月の路上工事時間を直ちに集計、公表し、利用者に見ていただくことにより、マネジメントの徹底・強化を図る。
 - ・ 地方公共団体に対しても、年末、年度末等の路上工事時間の公表を働きかけ。
- 工事情報の開示
 - ・ 道路補修工事について、工事情報の開示等による道路管理者自らの縮減に積極的に取り組む。

平成 14 年度実績	1km 当たり年間 201 時間	
平成 15 年度	実績	1km 当たり年間 186 時間
	目標	H14 年度比 4%縮減 (1km 当たり年間 193 時間)
中期的な目標	H19 年度までに約 2 割削減し、路上工事に伴う渋滞の軽減を図る。	
平成 16 年度の目標	H14 年度比 8%縮減	



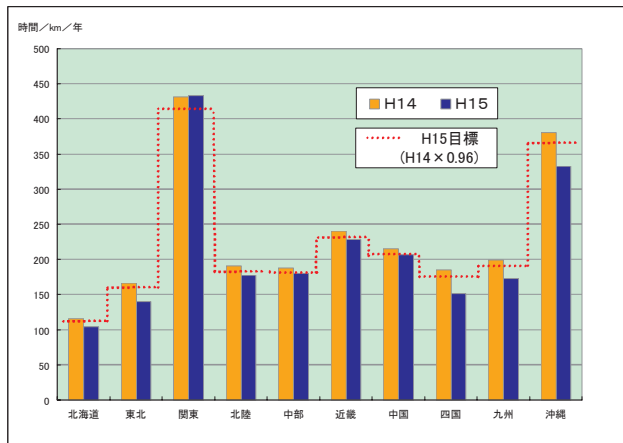
担当：道路局 国道・防災課

(1) 指標の動向

全国の直轄国道において、平成14年度の1km当り年間201時間から186時間へと約7%縮減しており、地方別で見ると、東北、四国、九州、沖縄においては10%以上の縮減となっている。

表2-1 全国及び三大都市（東京23区、名古屋市、大阪市）における平成15年度の目標と実績
(単位：時間/km/年)

		H14実績	H15目標	H15実績	H15縮減率 (H15/H14)	H19目標
全国(直轄国道)		201	193	186	0.93	2割縮減
三大都市	東京23区 (国道+都道)	961	923	916	0.95	
	名古屋 (国道+県道+主要市道)	752	722	697	0.93	
	大阪 (国道+県道+主要市道)	717	688	527	0.74	



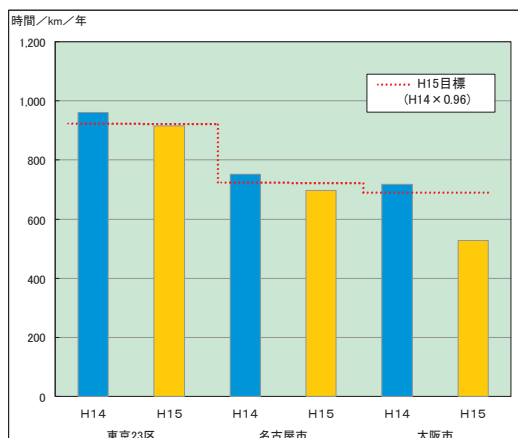
路上工事時間(時間/km/年)

整備局名	H14	H15目標 (H14 * 0.96)	H15	縮減率 (H15/H14)
北海道	116	111	104	0.90
東北	166	159	140	0.84
関東	431	414	433	1.00
北陸	191	183	178	0.93
中部	188	180	180	0.96
近畿	241	231	228	0.95
中国	215	206	207	0.96
四国	185	178	151	0.82
九州	199	191	173	0.87
沖縄	381	366	333	0.87
全国(直轄)	201	193	186	0.93

図2-1 各地方整備局における路上工事時間(平成14年度、平成15年度)

三大都市（東京23区、名古屋市、大阪市）については、直轄国道に加え、都道、県道、主要市道も含めて評価し、いずれも平成15年度目標4%縮減を達成している。

東京23区においては、1km当り年間961時間から916時間へ約5%の縮減、名古屋市においては、752時間から697時間へ約7%の縮減、大阪市においては717時間から527時間へと約26%の大幅な縮減となっている。



路上工事時間(時間/km/年)

都市圏名	H14	H15目標 (H14 * 0.96)	H15	縮減率 (H15/H14)
東京23区	961	923	916	0.95
直轄国道	1,651	1,585	1,528	0.93
補助国道	785	754	1,825	2.32
都道府県道	841	807	790	0.94
指定市道	-	-	-	-
名古屋市	752	722	697	0.93
直轄国道	491	471	440	0.90
補助国道	1,284	1,233	1,276	0.99
都道府県道	793	761	728	0.92
指定市道	754	724	701	0.93
大阪市	717	688	527	0.74
直轄国道	923	886	963	1.04
補助国道	557	535	516	0.93
都道府県道	632	607	467	0.74
指定市道	783	752	377	0.48
大都市計	848	814	781	0.92

図2-2 三大都市における路上工事時間(平成14年度、平成15年度)

路上工事スリム化大作戦（年末、年度末の路上工事ストップ）

■東京 23 区の年末、年度末の路上工事時間を前年同月比約 7%縮減

東京 23 区内の直轄国道及び都管理道路においては、年末(12 月)及び年度末(3 月)において、道路陥没、水・ガス漏れ等の緊急工事や自動車交通の低減に寄与する地下鉄工事、効率的な交通の確保に寄与する首都高速道路新宿線建設工事等を除き、路上工事を原則ストップする方針を打ち出し、前年同月比で、年末、年度末共に約 7%縮減した。特に直轄国道においては、年末約 2 割縮減、年度末約 5 割縮減と大幅な縮減となっている。また、年度末の路上工事抑制について、モニターの約 7 割が路上工事は減ったと実感し、有効な施策であると評価した。

- 年末の路上工事ストップ：「路上工事スリム化大作戦」 12 月 20 日(直轄国道は 15 日)～31 日
- 年度末の路上工事抑制：「東京スリム化ルールに基づく路上工事抑制」 3 月 1 日～31 日

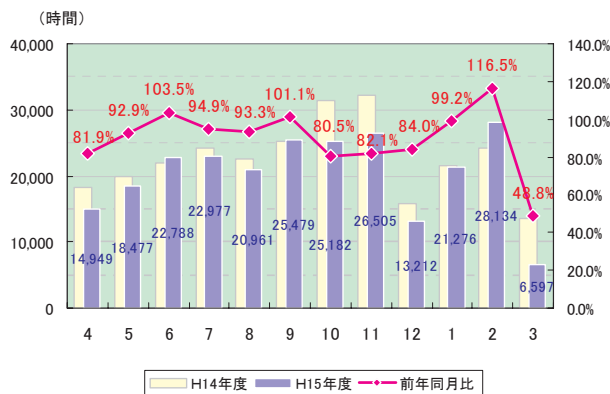
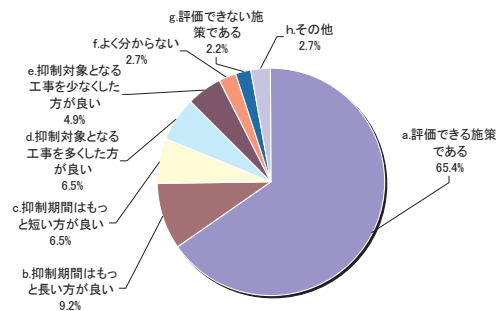


図 2-3 東京 23 区内直轄国道における月別路上工事時間比較 (平成 14 年度、平成 15 年度)



図 2-4 年末路上工事ストップ PR ポスター

<年度末の路上工事を抑制することについて N=185>



<年度末の路上工事の印象について N=182>

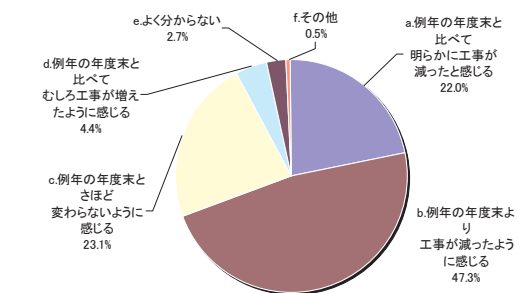


図 2-5 モニターへのアンケート結果

■指標の定義の変更及び平成 14 年度末現在の値の見直し

本指標については、今年度から、直轄国道における毎月の路上工事時間を直ちに集計・公表することにより、路上工事縮減マネジメントの強化を図っているところである。この集計に際しては、路上工事時間の評価を適切に行うため、道路補修工事、占用企業工事以外で計上されていた時間(例：道路の一時使用等)については除外することとした。この観点から、平成 14 年度末の路上工事時間(235 時間/km/年)を見直したところ、201 時間/km/年となった。

(2) 達成度報告（昨年度の成果）

■全国の直轄国道において、年間路上工事時間を約7%縮減

全国の直轄国道において、年間路上工事時間を約420万時間から約391万時間へと約7%縮減した。
内訳をみると、道路補修工事は約3%の縮減、占用企業者工事は約15%の縮減となっている。

表 2-2 全国の直轄国道における年間路上工事時間（平成14年度、平成15年度）

		平成14年度		平成15年度		縮減時間	H15/H14 時間	
		時間	時間/km	時間	時間/km			
全国	国管理道路 (直轄国道)	道路補修工事	2,926,827	140	2,824,893	134	-101,934	0.97
		占用企業工事	1,275,507	61	1,082,259	51	-193,248	0.85
		計	4,202,334	201	3,907,152	186	-295,182	0.93

■東京23区における年間路上工事時間を約5%縮減

東京23区においては、路上工事件数はこの10年間で半減しているが、近年では頭打ち傾向にある。また、東京23区内の直轄国道及び都管理道路における路上工事の内訳を見ると、占用企業者による工事が約8割を占めている。（なお、区道についてはデータが無い。）

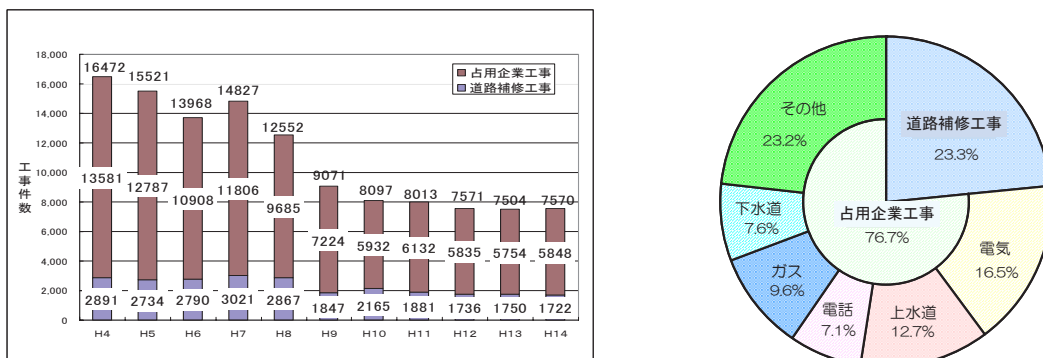


図 2-6 東京23区の路上工事件数の推移及び路上工事内容内訳（平成14年度）

東京23区における年間路上工事時間は、約105万時間から約100万時間へと約5%の縮減となった。
その内訳をみると、占用企業工事が約18%縮減している一方で、道路補修工事が約28%増加している。

表 2-3 東京23区内における年間路上工事時間（詳細）

		平成14年度		平成15年度		縮減時間	H15/H14 時間	
		時間	時間/km	時間	時間/km			
東京23区	国管理道路 (直轄国道)	道路補修工事	72,045	440	110,385	684	38,340	1.53
		占用企業工事	198,405	1,211	136,152	844	-62,253	0.69
		計	270,450	1,651	246,537	1,528	-23,913	0.91
	都管理道路 (国道・都道)	道路補修工事	231,255	248	277,524	298	46,269	1.20
		占用企業工事	552,033	592	478,107	513	-73,926	0.87
		計	783,288	840	755,631	810	-27,657	0.96
道路補修工事		303,300	277	387,909	355	84,609	1.28	
占用企業工事		750,438	685	614,259	562	-136,179	0.82	
計		1,053,738	961	1,002,168	916	-51,570	0.95	

【渋滞を減らす ～道路交通の円滑化～】

平成 15 年度の東京 23 区の月別路上工事時間を対前年同月比で見ると、国管理道路(直轄国道)の道路補修工事は、年間を通じ平均的に増加しているが、都管理道路の道路補修工事は平成 14 年度にも年始から年度末にかけて工事が集中していたが、平成 15 年度もこの時期に大幅な増加傾向となっており、結果として 1, 2 月の路上工事時間を押し上げることとなった。

表 2-4 東京 23 区内の月別路上工事時間

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
国管理道路(直轄国道) 道路補修工事	H14(時間)	2,007	2,763	3,582	5,877	6,822	6,993	8,631	9,126	5,661	7,191	8,073	5,319	72,045
	H15(時間)	5,130	7,317	9,981	10,071	9,288	10,872	12,051	10,512	7,002	11,934	13,788	2,439	110,385
	伸率(H15/H14)	2.56	2.65	2.79	1.71	1.36	1.55	1.40	1.15	1.24	1.66	1.71	0.46	1.53
都管理道路(補助国道・都道) 道路補修工事	H14(時間)	10,017	9,261	7,560	11,799	12,474	13,680	20,592	26,640	21,168	32,319	33,345	32,400	231,255
	H15(時間)	9,639	9,072	8,640	10,764	10,890	11,799	22,176	30,600	24,696	45,999	47,709	45,540	277,524
	伸率(H15/H14)	0.96	0.98	1.14	0.91	0.87	0.86	1.08	1.15	1.17	1.42	1.43	1.41	1.20
国・都管理道路 占用企業工事	H14(時間)	56,997	60,183	64,980	68,544	61,272	68,274	79,506	81,675	48,834	52,677	58,977	48,519	750,438
	H15(時間)	49,563	50,526	55,980	57,393	50,841	60,048	58,257	60,084	38,619	44,739	55,755	32,454	614,259
	伸率(H15/H14)	0.87	0.84	0.86	0.84	0.83	0.88	0.73	0.74	0.79	0.85	0.95	0.67	0.82
合計	H14(時間)	69,021	72,207	76,122	86,220	80,568	88,947	108,729	117,441	75,663	92,187	100,395	86,238	1,053,738
	H15(時間)	64,332	66,915	74,601	78,228	71,019	82,719	92,484	101,196	70,317	102,672	117,252	80,433	1,002,168
	伸率(H15/H14)	0.93	0.93	0.98	0.91	0.88	0.93	0.85	0.86	0.93	1.11	1.17	0.93	0.95

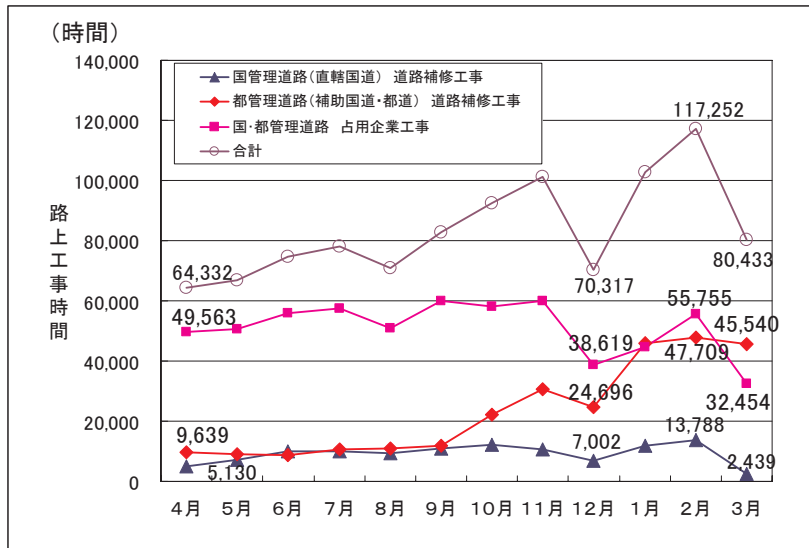


図 2-7 平成 15 年度の各月別の路上工事時間 (東京 23 区)

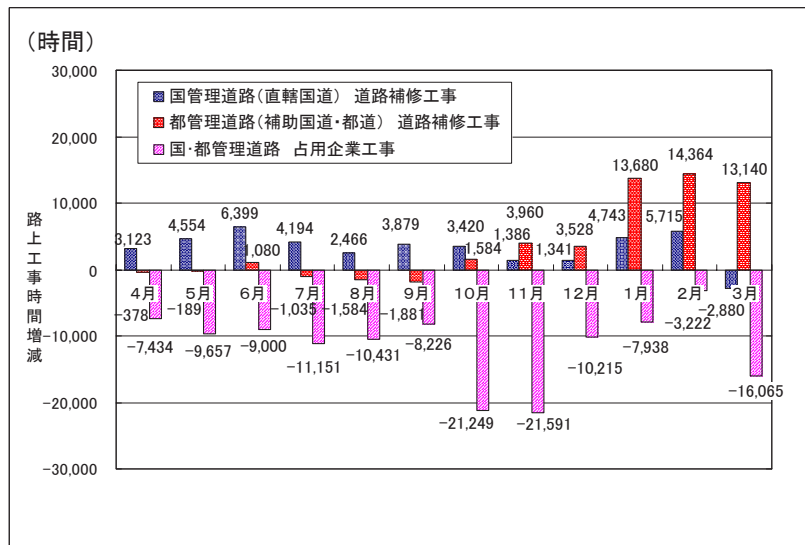


図 2-8 平成 14 年度と平成 15 年度の各月別の路上工事時間の増減 (東京 23 区)

各道路管理者や占有企業者は、それぞれの工事予定について、場所、内容、時期の調整を行い、複数の占有企業者が共同で工事を施工する「共同施工」を推進し、路上工事の縮減に努めている。東京都では「東京都路上工事調整会議」を年1回（部会は2ヶ月に1回）開催し、調整を図っている。

東京23区における交通規制を伴うような道路工事調整件数(平成14年度)は、直轄国道約13%、都管理道路約47%、区道約40%であり、23区の道路延長の殆どを占める都管理道路と区道での工事調整件数が約9割となっている。

なお、直轄国道では、平成15年度は、照明灯落下事故に伴う緊急工事、電線共同溝工事及び再開発事業に伴う工事等が平成14年度に比べて増加した。

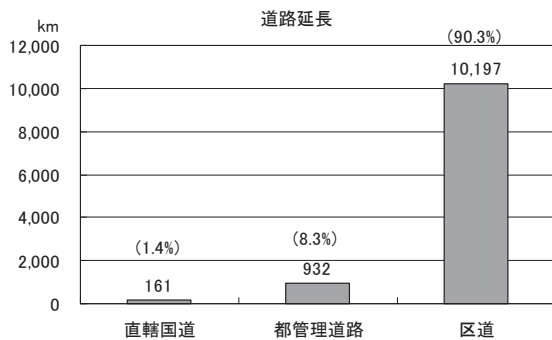


図2-9 東京23区内の道路別延長

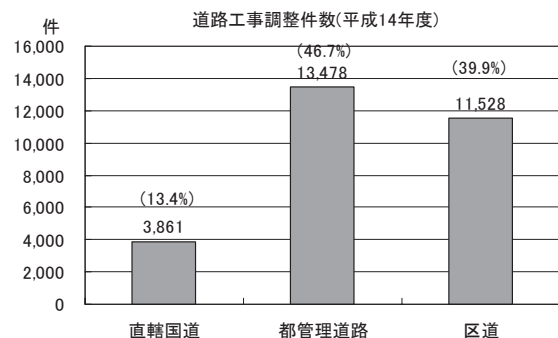


図2-10 東京23区内の道路別工事調整件数

※ 都管理道路とは、補助国道と都道
 ※ 区道については21区（除く千代田区、中央区）での集計値。

「ユーザーの視点に立った道路工事マネジメントの改善委員会」

平成15年6月に、「ユーザーの視点に立った道路工事マネジメントの改善委員会」（委員長：家田仁東大教授）を設置した。平成15年10月に、利用者の視点に立った「外部評価型」路上工事縮減施策への転換を求める提言をいただき、東京23区を中心に各種施策を実施した。

また、委員会設置に合わせて、ホームページを開設し、一般の皆様からのご意見、ご質問を募集している。

(<http://www.dorokoji.net/>)

【渋滞を減らす ～道路交通の円滑化～】

(3) 業績計画（今後の取組み）

■ 路上工事縮減のためのマネジメントの徹底

- ・直轄国道において、毎月の路上工事時間を直ちに集計、公表し、利用者に見ていただくことにより、マネジメントの徹底・強化を図る。
- ・地方公共団体に対しても、年末、年度末等の路上工事時間の公表を働きかけ。

■ 工事情報の開示

- ・道路補修工事について、工事情報の開示等による道路管理者自らの縮減に積極的に取り組む。

<参考>

□ 掘り返し対策重点エリアの設定

一定のエリアにおける幹線道路（国道、都道）を対象に集中工事を実施し、次年度以降は緊急工事等以外の掘り返しを5年間規制する「掘り返し対策重点エリア」を、平成15年度は東京都内に4箇所設定した。

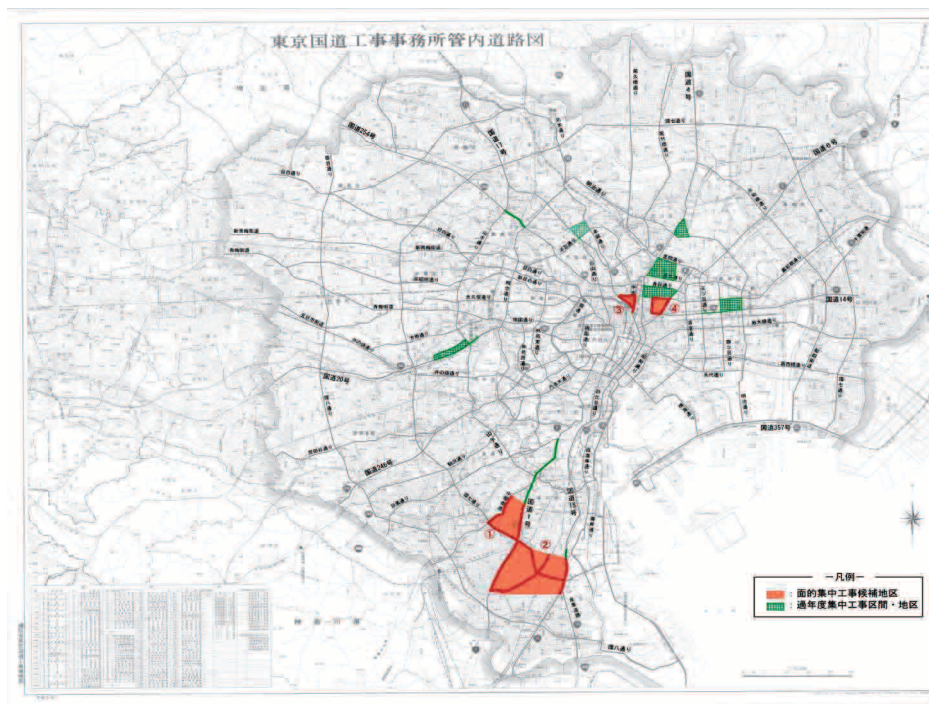


図 2-11 東京 23 区内の「掘り返し対策重点エリア」（平成 15 年度：赤、過年度：緑）

□ 路上工事の平準化のための国庫債務負担行為採択要件の緩和

年度末の路上工事の集中への強い批判に応えるため、平成16年度予算において、直轄国道の道路補修工事について、多年度執行が可能な国庫債務負担行為（修繕国債）の採択要件を緩和した。これにより、修繕国債の設定件数を、平成15年度の22件から平成16年度には33件へと約5割の拡大を行った。

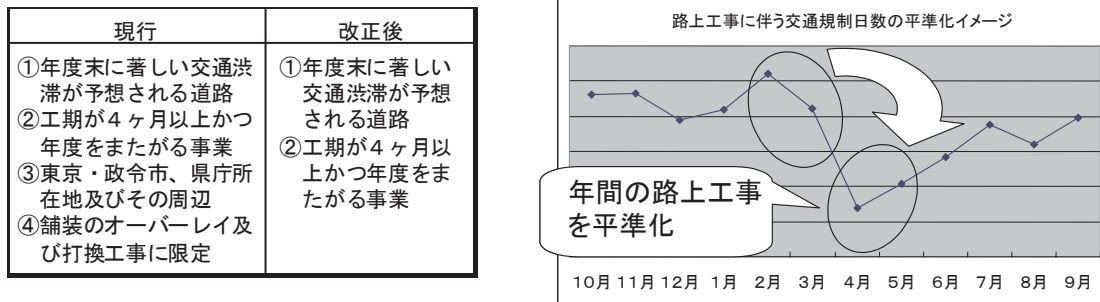


図 2-12 国庫債務負担行為採択要件の緩和

【関連する平成16年度の主な施策】

- 占有企業者に縮減インセンティブの働く施策の実施
 - ・ 企業名と工事理由が一目でわかる工事看板の設置
 - ・ 企業者別の工事渋滞の縮減貢献度の公表
 - ・ 工事渋滞軽減度に応じたインセンティブ／チャージの検討
- 道路管理者自らの縮減強化
 - ・ 路上工事の平準化のための多年度執行可能な国庫債務負担行為の積極活用
 - ・ 渋滞コスト最小の者が受注できる落札方式の促進
- 利用者への情報提供とチェック強化
 - ・ リアルタイム路上工事情報提供システムの構築
 - ・ 道路利用者のチェックによる路上工事実施方法の改善
- 更なる縮減のためのマネジメント強化
 - ・ 年末、年度末抑制を含む工事時間の総量抑制
 - ・ 掘り返し規制エリアの設置促進
 - ・ 交通工学の専門家が参加する「路上工事マネジメント改善会議」の設置
- 共同溝の整備